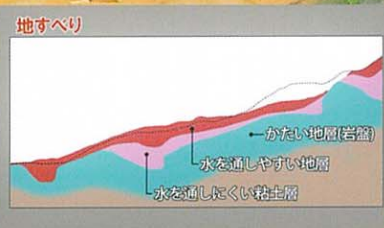


一般向け・約19分
文部科学省選定

監修 東京電機大学名誉教授 元日本地震工学会会長 安田進

身近に潜む 土砂災害の危険

～早めの予測 早めの避難～



監修のことば

東京電機大学名誉教授
元日本地震工学会会長
安田進



地球規模の気候変動の影響を受けて、我が国では最近豪雨による土砂災害が急増しています。災害から身を守るためには、災害の種類や発生のメカニズムに対する正しい認識を持ち、それに応じた適切な避難行動をとることが大切です。本作品は一般市民の方々を対象に、これらに関して多くの事例をもとに具体的に説明してあります。特に以下の三つの特長があります。

- (1) 土砂災害にはかけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、地すべり、土石流と異なった災害があることと、それぞれが発生するメカニズム、生じる被害、予兆現象、避難方法の違いを説明してあります。したがって市民の方が自宅周辺で発生する災害、避難方法などを理解し易くなっています。
- (2) 各災害の発生事例を多く紹介しており、災害の実態が分かり易くなっています。また、直近の災害として令和3年7月に熱海で発生した土石流被害も取り込まれており、身近に感じられるようになっています。
- (3) 国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」で被害発生の可能性を調べる方法と、気象庁の「キキクル（危険度分布）」を用いて身を守る方法が示されており、市民の方はこれらの公的な情報をもとに判断できるようになっています。

以上のように、本作品は土砂災害に対する有用な社会教育DVDと言えます。

企画意図

2021年7月に静岡県熱海市で発生した大規模な土砂災害では、死者・行方不明者28人という大きな被害を出しました。集中豪雨によるものではなく、長く降り続いた雨が土の中に蓄積された「長雨蓄積型」だったこと、不適切に造成された「盛り土」が崩れたことで被害を大きくしたと指摘されています。

傾斜が急な山が多く、台風や大雨、地震などが多い日本は土砂災害が発生しやすい国土環境にあり、全国各地で多くの土砂災害が発生しています。日本に暮らす私たちにとって土砂災害からいかに身を守るかは、避けて通ることのできない課題です。

本作品では、まず土砂災害とは何なのか、その種類とメカニズムを示し、過去にどんな土砂災害が起きたかを紹介します。そして、2021年7月に熱海市で起きた土砂災害について、資料映像やインタビューを交えながら、被害の実態とそこから得られる教訓について検証していきます。また、2014年8月に広島市北部で発生した土砂災害では、多くの命が奪われた一方、地域の人々の協力で救われた命もありました。その取り組みについても紹介します。

これらをふまえて、土砂災害から命を守るポイントを解説します。ハザードマップなどを用いて住んでいる地区に土砂災害の危険があるかどうかを調べておくことの重要性、雨が降り出したらどのような情報を利用してどう避難の判断をするか、避難する際の注意点などについて紹介します。

土砂災害から命を守る方法を一人一人が考える一助となることを目指します。

■土砂災害とは

日本は世界の中でも土砂災害が非常に多い国のひとつである。令和2年の全国の土砂災害発生件数は1,319件。このうち961件が、熊本県など西日本各地で発生した集中豪雨、「令和2年7月豪雨」によるものだ。

集中豪雨とはどのように発生するのかをCGで解説する。

また、土砂災害は大きく「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つに分けられる。それぞれについて、実際に起きた災害を例に挙げながら解説していく。

■身を守る備えと行動

事前の備えとして「ハザードマップ」、土砂災害の危険が迫った際の行動の目安「5段階の警戒レベル」、実際に避難する際に注意すべき「土砂災害の前兆現象」等について、それぞれ詳しく解説する。

■地域の方で命を守る

広島市北部で起きた土砂災害では、多くの方が亡くなった

一方、地域の協力で助け出された人もいた。土砂で家が押しつぶされたお宅にいち早く駆けつけたのが、自主防災組織・上原五輪田自治会のメンバーだ。8時間に及ぶ救出作業中、自治会の人たちは、周辺の瓦礫などを除ける・道を作るといった様々な支援活動を行った。

また、このような被災体験をふまえ、土砂災害に備えた取り組みを行うようになった。

■まとめ

土砂災害から身を守るためには、自分の住む地域にどのような危険があるかをよく知り、いざというときに身を守る方法をあらかじめ考えておく必要がある。

そして危険が高まったら、気象庁や自治体の情報に注意し、早めに安全な場所に避難するなど、素早く身を守る行動をとることが大切だ。

■ライブラリー価格 本体¥65,000 (税込¥71,500)

監修 東京電機大学名誉教授
元日本地震工学会会長
安田進

企画・制作統括 高木裕己
プロデューサー 堤謙一
脚本・演出 川崎けい子
撮影 永田雅之

制作・著作 株式会社映学社

■DVD [カラー] ※字幕版も収録されています
■2022年・映学社作品

 株式会社映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<https://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……



株式会社 教配

〒190-0012
東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL: 042-518-9774 (代) FAX: 042-518-9785